

1

ライフステージ別にみた生命保険の 加入実態、生活保障意識

ここではライフステージ別にみた生命保険の加入実態や生活保障に対する意識を分析している。各ライフステージについては、以下のような設定で区分している。

ライフステージ	内 容
夫婦のみ（40歳未満） 夫婦のみ（40～59歳）	世帯主年齢がそれぞれ40歳未満、40～59歳である夫婦のみの世帯
末子乳児 末子保育園児・幼稚園児 末子小・中学生 末子高校・短大・大学生 末子就学終了	同居の子ども（末子）がそれぞれの末子態様に当てはまる世帯（これらの世帯はいわゆる核家族世帯（夫婦と子の世帯）に限定しておらず、母子・父子世帯や三世代世帯（親と同居の世帯）も含まれる）
高齢夫婦有職（60歳以上） 高齢夫婦無職（60歳以上）	世帯主年齢がそれぞれ60歳以上である夫婦のみの世帯であり、世帯主が有職もしくは無職の世帯（同居の子どもがいる場合は、「高齢夫婦有職」あるいは「高齢夫婦無職」として取り扱わず、上記末子態様のいずれかに含めている）

なお、分析対象となったサンプルの属性的特徴は以下の通りとなっている。

〈分析対象サンプルの属性的特徴〉

	サンプル数	世帯主年齢 (歳)	配偶者 年齢 (歳)	世帯主年収 (万円)	配偶者 年収 (万円)	世帯年収 (万円)	世帯保有金 融資産額 (万円)
夫婦のみ (40歳未満)	93	31.5	30.7	453	272	686	605
夫婦のみ (40～59歳)	225	51.4	50.1	550	222	720	906
末子乳児	192	35.6	33.7	553	227	657	650
末子保育園児・幼稚園児	328	37.7	36.2	539	215	692	694
末子小・中学生	626	44.8	43.3	599	201	750	805
末子高校・短大・大学生	318	52.7	50.8	607	183	760	923
末子就学終了	827	65.7	62.4	408	140	677	1,292
高齢夫婦有職 (60歳以上)	469	68.9	66.0	400	159	512	1,528
高齢夫婦無職 (60歳以上)	451	76.1	73.6	274	106	344	1,642

	サンプル数	同居未婚の 子どもの 人数 (人)	配偶者の 就労割合 (%)	持家率 (%)	住宅関係費 の年間支払 額 (万円)	教育関係費 の年間支出 額 (万円)
夫婦のみ (40歳未満)	93	—	82.8	18.3	80	—
夫婦のみ (40～59歳)	225	—	78.7	74.7	87	—
末子乳児	192	1.9	41.7	57.3	89	24
末子保育園児・幼稚園児	328	2.1	70.1	70.4	160	43
末子小・中学生	626	2.0	68.8	78.1	121	71
末子高校・短大・大学生	318	1.8	68.6	82.4	81	132
末子就学終了	827	1.3	37.7	87.8	51	—
高齢夫婦有職 (60歳以上)	469	—	64.8	91.3	50	—
高齢夫婦無職 (60歳以上)	451	—	—	92.9	22	—

(1) 生命保険の加入実態

(ア) 生命保険（個人年金保険を含む）の加入率

(a) 生命保険の加入率（全生保）

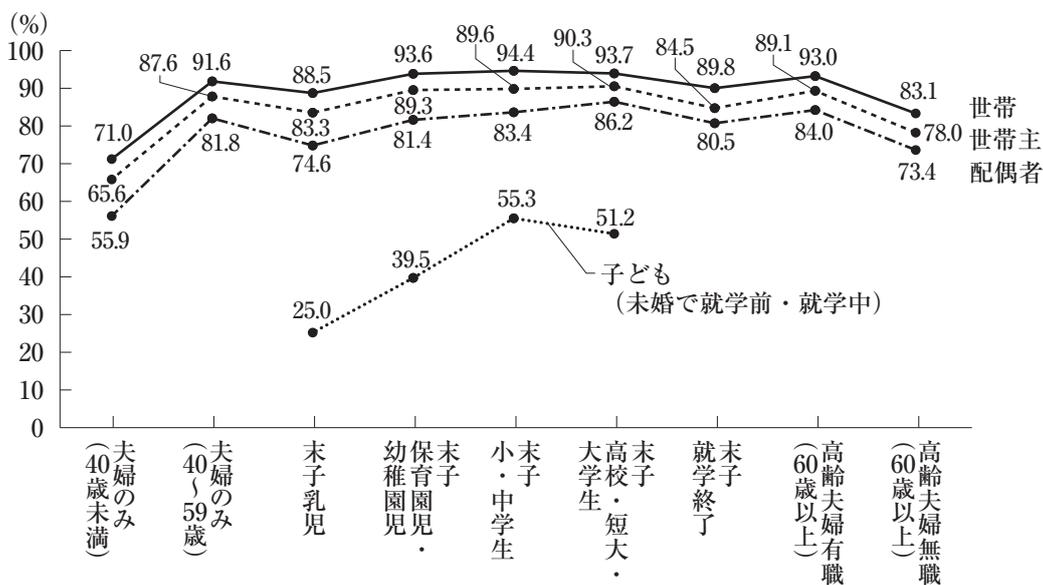
生命保険（個人年金保険を含む）の世帯加入率（全生保）は、「夫婦のみ（40～59歳）」および「末子保育園児・幼稚園児」から「末子高校・短大・大学生」、「高齢夫婦有職（60歳以上）」では9割を超えている一方、「夫婦のみ（40歳未満）」と「高齢夫婦無職（60歳以上）」では7～8割程度となっている。また、「夫婦のみ」では40歳未満で7割、40～59歳で9割と加入率の差が大きくなっている。

世帯主の加入率（全生保）は、「夫婦のみ（40～59歳）」および「末子保育園児・幼稚園児」から「末子高校・短大・大学生」で9割前後となっている。

配偶者の加入率（全生保）は、「夫婦のみ（40歳未満）」および「末子乳児」、「高齢夫婦無職（60歳以上）」以外で8割を超えている。

子ども（未婚で就学前・就学中）の加入率（全生保）は、「末子乳児」では25.0%と低い、ライフステージが上がるほど高くなり、「末子小・中学生」（55.3%）、「末子高校・短大・大学生」（51.2%）では5割を超えている。（図表Ⅲ－1）

〔図表Ⅲ－1〕 生命保険の加入率（全生保）

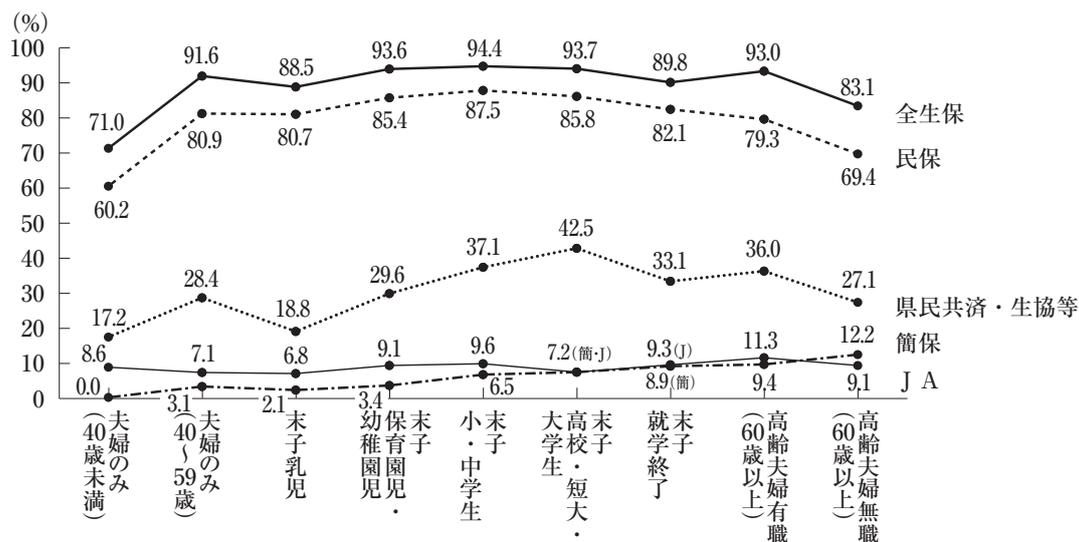


* 全生保は民保（かんぽ生命を含む）、簡保、JA、県民共済・生協等を含む

(b) 生命保険の世帯加入率（機関別）

生命保険の世帯加入率について機関別にみると、民保では「夫婦のみ（40～59歳）」および「末子乳児」から「末子就学終了」で8割を超えている一方、「夫婦のみ（40歳未満）」（60.2%）と「高齢夫婦無職（60歳以上）」（69.4%）では6割台となっている。また、県民共済・生協等では「末子小・中学生」から「末子就学終了」および「高齢夫婦有職（60歳以上）」で3割を超えている。（図表Ⅲ－2）

〈図表Ⅲ－2〉 生命保険の世帯加入率（機関別）

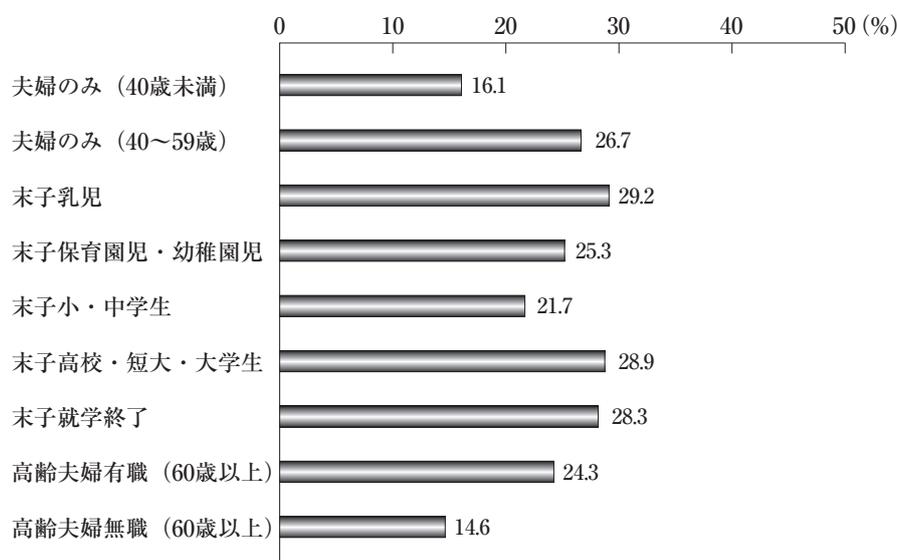


*全生保は民保（かんぽ生命を含む）、簡保、JA、県民共済・生協等を含む

(イ) 個人年金保険の世帯加入率（全生保）

個人年金保険（全生保）の世帯加入率は、「末子乳児」（29.2%）および「末子高校・短大・大学生」（28.9%）、「末子就学終了」（28.3%）で3割弱となっている。（図表Ⅲ－3）

〈図表Ⅲ－3〉 個人年金保険の世帯加入率（全生保）

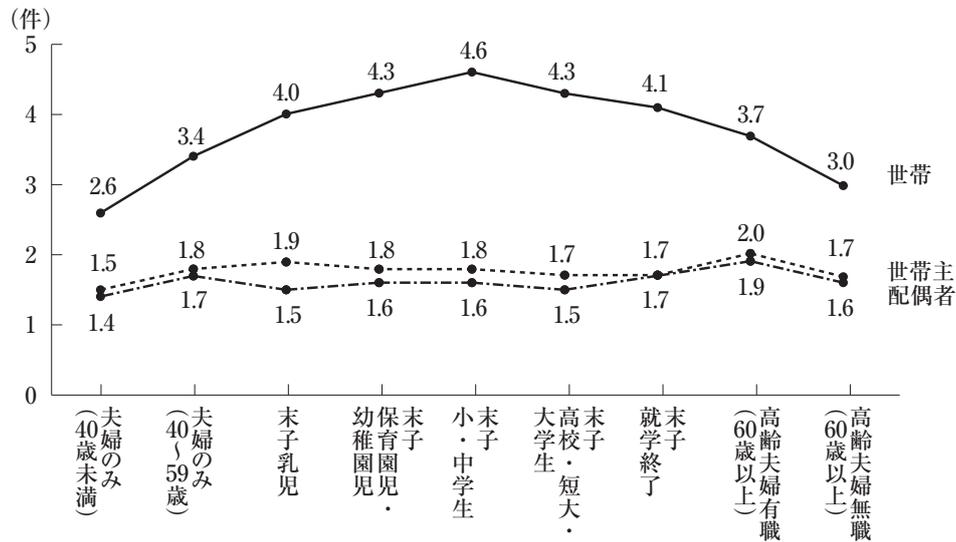


*全生保は民保（かんぽ生命を含む）、簡保、JA、こくみん共済coopを含む

(ウ) 加入件数（全生保）（個人年金保険を含む）

世帯の加入件数（全生保）は、「末子小・中学生」まではライフステージが上がるほど高くなり、「末子乳児」から「末子就学終了」までは4件以上となっており、「末子小・中学生」では4.6件と最も高くなっている。（図表Ⅲ－4）

〈図表Ⅲ－4〉 世帯加入件数（全生保）



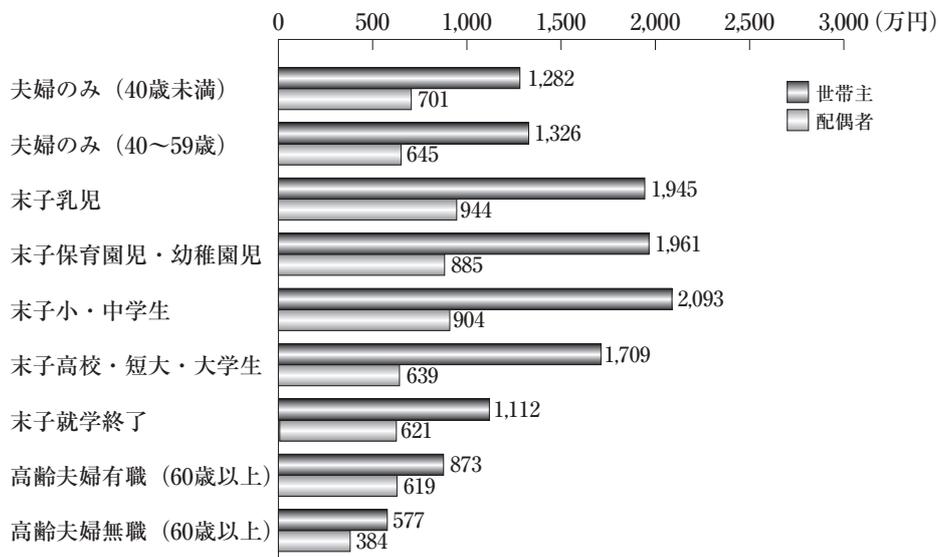
*全生保は民保（かんぽ生命を含む）、簡保、JA、県民共済・生協等を含む

(エ) 普通死亡保険金額（全生保）

世帯主の普通死亡保険金額（全生保）は、「末子小・中学生」で2,093万円と、2,000万円を超え最も高くなっている。一方、「高齢夫婦無職（60歳以上）」では577万円となっている。

配偶者の普通死亡保険金額（全生保）は、「末子乳児」で944万円と最も高くなっている。（図表Ⅲ－5）

〈図表Ⅲ－5〉 普通死亡保険金額（全生保）



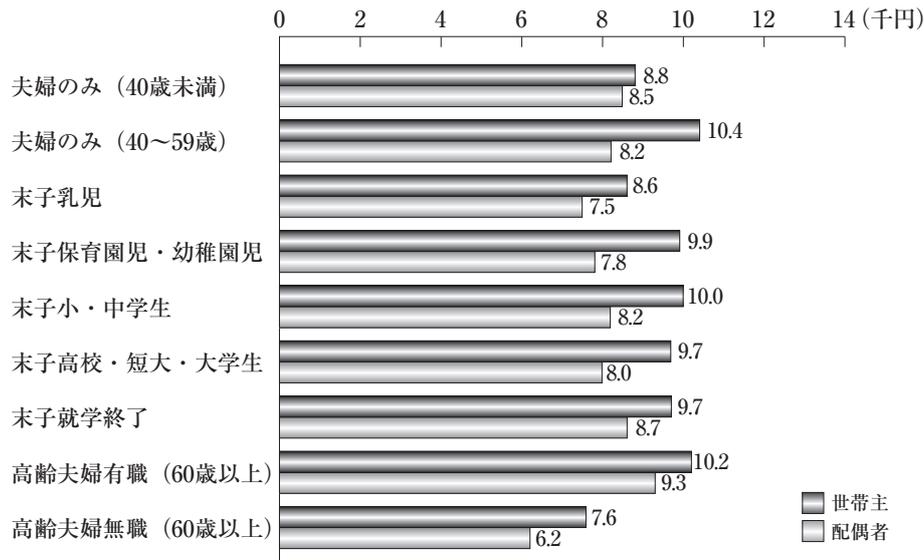
*全生保は民保（かんぽ生命を含む）、簡保、JA、県民共済・生協等を含む

(オ) 疾病入院給付金日額（全生保）

世帯主の疾病入院給付金日額（全生保）は、「夫婦のみ（40～59歳）」および「末子小・中学生」、「高齢夫婦有職（60歳以上）」では10.0千円以上となっており、「夫婦のみ（40～59歳）」（10.4千円）で最も高くなっている。

配偶者の疾病入院給付金日額（全生保）は、「高齢夫婦有職（60歳以上）」で9.3千円と最も高くなっている。（図表Ⅲ－6）

〈図表Ⅲ－6〉 疾病入院給付金日額（全生保）

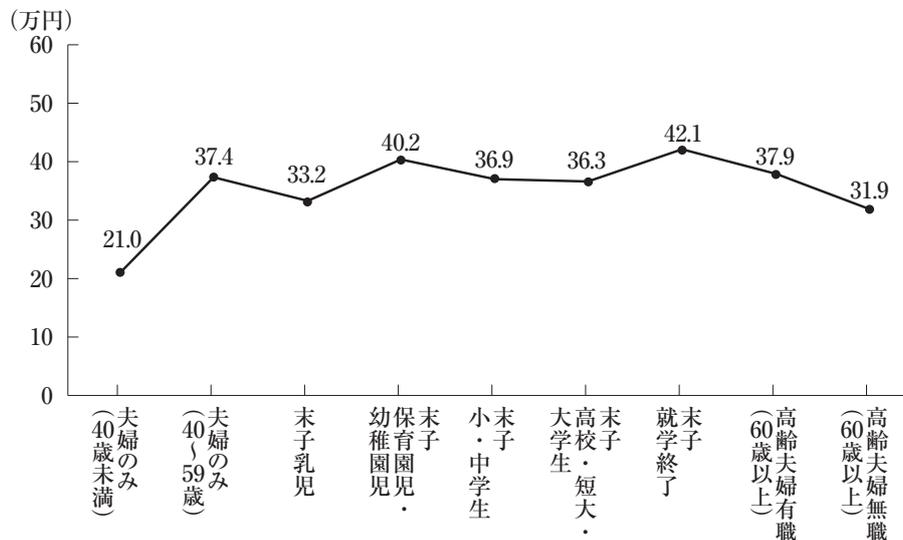


*全生保は民保（かんぽ生命を含む）、簡保、JA、県民共済・生協等を含む

(カ) 世帯年間払込保険料（全生保）

世帯年間払込保険料（全生保）は、「末子保育園児・幼稚園児」および「末子就学終了」では40万円を超えており、「末子就学終了」では42.1万円と最も高くなっている。一方、「夫婦のみ（40歳未満）」では21.0万円と低くなっている。（図表Ⅲ－7）

〈図表Ⅲ－7〉 世帯年間払込保険料（全生保）



*全生保は民保（かんぽ生命を含む）、簡保、JA、県民共済・生協等を含む

(2) 生活保障意識

(ア) 世帯主が万一の場合の家族の必要生活資金

世帯主が万一の場合の家族の必要生活資金の年間必要額をみると、「末子乳児」から「末子高校・短大・大学生」で400万円前後となっており、「末子小・中学生」で417万円と最も高くなっている。

また、必要年数をみると、「夫婦のみ（40歳未満）」で23.6年間と最も長くなっている。

これらを掛け合わせた必要生活資金総額をみると、「末子乳児」で8,332万円と最も高くなっている。（図表Ⅲ－8）

〈図表Ⅲ－8〉 世帯主が万一の場合の家族の必要生活資金

	年間必要額 (万円)	必要年数 (年間)	万一の場合 の必要生活 資金総額 (万円) ①	世帯主平均 加入普通死 亡保険金額 (万円) ②	充足率 ②/① (%)
夫婦のみ（40歳未満）	296	23.6	7,082	1,282	18.1
夫婦のみ（40～59歳）	292	21.9	6,326	1,326	21.0
末子乳児	387	21.9	8,332	1,945	23.3
末子保育園児・幼稚園児	371	20.0	7,743	1,961	25.3
末子小・中学生	417	16.6	6,863	2,093	30.5
末子高校・短大・大学生	392	15.7	6,114	1,709	27.9
末子就学終了	299	16.5	4,929	1,112	22.6
高齢夫婦有職（60歳以上）	273	16.9	4,721	873	18.5
高齢夫婦無職（60歳以上）	247	14.0	3,536	577	16.3

(イ) 経済的備えに対する安心感・不安感

経済的備えに対する安心感・不安感をみると、『不安』は概ね末子が就学前・就学中のライフステージで高い傾向がみられ、遺族保障は「末子乳児」が、医療保障、老後保障、介護保障、就業不能保障は「末子小・中学生」で最も高くなっている。（図表Ⅲ－9）

〈図表Ⅲ－9〉 経済的備えに対する安心感・不安感

	遺族保障		医療保障		老後保障		介護保障		就業不能保障	
	安心	不安	安心	不安	安心	不安	安心	不安	安心	不安
夫婦のみ（40歳未満）	34.4	63.4	37.6	61.3	21.5	73.1	16.1	77.4	26.4	68.1
夫婦のみ（40～59歳）	24.9	72.9	36.4	62.2	22.2	73.8	16.9	79.6	22.2	74.2
末子乳児	19.8	78.1	30.2	68.2	19.3	77.1	10.9	84.9	17.5	79.4
末子保育園児・幼稚園児	24.7	72.3	31.7	67.4	17.1	79.0	12.5	83.2	20.4	76.5
末子小・中学生	22.5	75.7	27.8	71.4	15.7	81.9	10.9	86.4	14.6	83.3
末子高校・短大・大学生	22.6	75.2	29.9	68.9	20.1	76.1	13.8	83.3	16.5	80.3
末子就学終了	30.1	68.4	36.2	62.5	29.3	69.2	20.0	76.8	20.2	73.9
高齢夫婦有職（60歳以上）	40.9	55.9	42.0	56.3	37.7	61.0	27.9	70.6	25.8	64.6
高齢夫婦無職（60歳以上）	51.0	46.1	50.8	46.6	52.8	45.2	41.0	56.3	0.0	0.0

* 『安心』は「大丈夫」、「たぶん大丈夫」の計、『不安』は「少し不安である」、「非常に不安である」の計

(ウ) 加入・追加加入意向の有無

生命保険（個人年金保険を含む）の加入・追加加入意向をみると、『加入・追加加入意向あり』は、「夫婦のみ（40歳未満）」（52.7%）、「末子乳児」（58.9%）で5割を超えて高くなっている。（図表Ⅲ－10）

〈図表Ⅲ－10〉 加入・追加加入意向の有無

(%)

	近く 加入したい	余裕が 出来たら 加入したい	加入・追加 加入意向あり	その考えは 全くない	不明
	夫婦のみ（40歳未満）	9.7	43.0	52.7	47.3
夫婦のみ（40～59歳）	5.3	27.6	32.9	66.2	0.9
末子乳児	5.2	53.6	58.9	41.1	0.0
末子保育園児・幼稚園児	3.0	42.4	45.4	54.6	0.0
末子小・中学生	2.4	42.7	45.0	54.5	0.5
末子高校・短大・大学生	3.5	34.3	37.7	61.6	0.6
末子就学終了	2.5	23.3	25.9	73.3	0.8
高齢夫婦有職（60歳以上）	2.3	14.5	16.8	82.7	0.4
高齢夫婦無職（60歳以上）	1.6	4.9	6.4	92.9	0.7

(エ) 生活保障の準備状況

生活保障の準備状況を見ると、末子が就学前・就学中のライフステージでは「世帯主が病気やケガのため長期間働くことができなくなった場合の生活資金の準備」および「子どもが万一の場合の資金準備」、「子どもの病気やケガの治療や入院した場合の医療費の準備」、「子どもの教育、結婚への資金準備」が高くなっている。また、高齢夫婦有職、無職世帯では世帯主、配偶者の老後、介護、および配偶者の死亡、病気の資金準備の割合が高くなっている。(図表Ⅲ－11)

〈図表Ⅲ－11〉 生活保障の準備状況 (複数回答)

(%)

	世帯主が万一の場合の資金準備	世帯主の病気やケガの治療や入院した場合の医療費の準備	世帯主の老後の生活資金の準備	世帯主が要介護状態となった場合の介護資金の準備	世帯主が病気やケガのため長期間働くことができなくなった場合の生活資金の準備	配偶者が万一の場合の資金準備	配偶者の病気やケガの治療や入院した場合の医療費の準備	配偶者の老後の生活資金の準備	配偶者が要介護状態となった場合の介護資金の準備	配偶者が病気やケガのため長期間働くことができなくなった場合の生活資金の準備	子どもが万一の場合の資金準備	子どもの病気やケガの治療や入院した場合の医療費の準備	子どもの教育、結婚への資金準備	子どもの老後の生活資金の準備	子どもが病気やケガのため長期間働くことができなくなった場合の生活資金の準備	子どもが要介護状態となった場合の介護資金の準備	その他	特になし	不明
夫婦のみ (40歳未満)	52.7	40.9	25.8	10.8	21.5	40.9	34.4	18.3	9.7	12.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	24.7	12.9
夫婦のみ (40～59歳)	44.0	51.1	27.1	13.3	20.0	34.7	49.8	22.7	10.7	11.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	8.0
末子乳児	60.9	60.9	23.4	12.5	30.2	45.3	50.5	16.1	8.9	13.5	25.5	25.0	33.9	2.1	2.1	1.6	0.5	9.9	5.2
末子保育園児・幼稚園児	54.0	60.4	29.9	18.0	33.2	38.1	50.3	21.0	9.8	12.2	28.7	35.1	37.5	4.0	3.7	4.9	0.9	14.3	7.6
末子小・中学生	53.5	59.6	24.1	14.1	26.5	38.2	48.9	17.4	10.1	12.6	26.7	39.5	35.1	2.9	3.0	4.2	0.2	13.7	6.5
末子高校・短大・大学生	48.4	60.7	36.2	17.9	26.7	37.1	48.1	25.5	11.0	13.8	27.4	43.4	27.0	4.7	4.1	6.3	0.0	14.2	4.7
末子就学終了	47.9	57.8	35.3	20.0	21.6	32.3	39.7	24.2	13.9	12.6	28.5	37.5	14.4	11.0	7.6	12.6	0.5	17.0	5.8
高齢夫婦有職 (60歳以上)	51.6	61.8	43.1	25.4	21.3	49.3	57.4	40.1	23.9	17.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	13.6	4.9
高齢夫婦無職 (60歳以上)	55.4	57.9	43.0	29.7	17.5	51.2	55.9	42.4	27.7	14.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	19.1	3.8

(オ) 今後増やしたい生活保障準備項目

今後増やしたい生活保障準備項目をみると、「夫婦のみ（40～59歳未満）」、「末子乳児」から「末子高校・短大・大学生」のライフステージで老後と介護や就業不能に関する資金準備の割合が高い傾向にある。（図表Ⅲ－12）

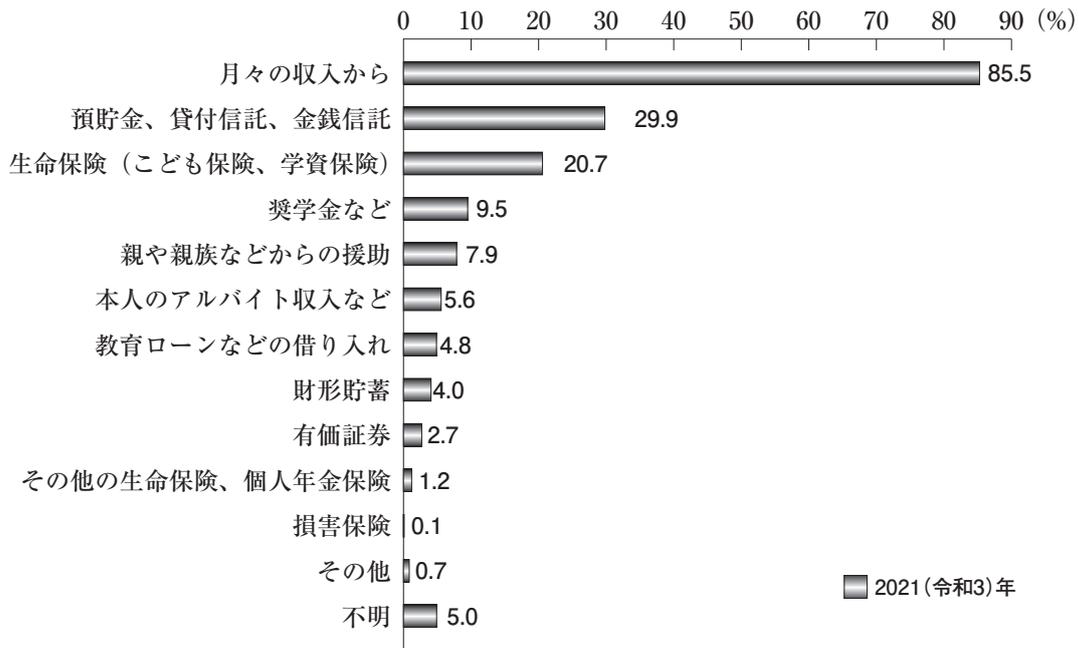
〈図表Ⅲ－12〉 今後増やしたい生活保障準備項目（複数回答）

	(%)																		
	世帯主が万 一の場合の 資金準備	世帯主の病 気やケガの 治療や入 院した場合 の医療費の 準備	世帯主の老 後の生活資 金の準備	世帯主が要 介護状態と なった場合 の介護資 金の準備	世帯主が病 気やケガの ため長期間 働くこと ができなくな った場合の 生活資金の 準備	配偶者が万 一の場合の 資金準備	配偶者の病 気やケガの 治療や入 院した場合 の医療費の 準備	配偶者の老 後の生活資 金の準備	配偶者が要 介護状態と なった場合 の介護資 金の準備	配偶者が病 気やケガの ため長期間 働くこと ができなくな った場合の 生活資金の 準備	子どもが万 一の場合の 資金準備	子どもの病 気やケガの 治療や入 院した場合 の医療費の 準備	子どもの教 育、結婚へ の資金準備	子どもの老 後の生活資 金の準備	子どもが病 気やケガの ため長期間 働くこと ができなくな った場合の 生活資金の 準備	子どもが要 介護状態と なった場合 の介護資 金の準備	その他	特 に な い	不 明
夫婦のみ（40歳未満）	36.6	36.6	38.7	29.0	32.3	34.4	34.4	35.5	26.9	28.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.7	9.7
夫婦のみ（40～59歳）	29.8	20.9	48.0	32.4	32.0	29.3	21.8	44.0	32.4	26.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.6	9.3
末子乳児	31.3	25.5	44.3	34.9	35.9	29.2	28.6	42.7	31.3	30.2	29.2	31.3	46.4	27.1	25.5	26.0	0.5	13.5	10.4
末子保育園児・幼稚園児	33.8	21.6	39.3	28.0	30.8	30.2	23.5	38.4	25.6	25.0	25.6	24.1	39.3	20.7	18.9	19.5	1.5	22.3	7.3
末子小・中学生	32.6	21.9	45.4	35.8	34.2	26.7	19.5	39.3	29.6	24.6	23.8	21.4	38.2	16.1	16.0	16.1	0.0	20.4	7.7
末子高校・短大・大学生	27.7	19.8	42.8	29.9	26.1	22.3	18.2	35.8	27.0	17.3	21.4	19.2	35.2	13.2	12.3	15.7	0.6	26.7	7.2
末子就学終了	18.0	13.3	29.0	23.8	16.6	12.3	11.0	20.9	16.4	10.5	19.1	15.0	18.7	17.2	12.7	17.2	0.4	37.1	11.5
高齢夫婦有職（60歳以上）	15.1	11.9	25.2	22.2	13.6	14.1	12.6	23.9	20.9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.9	17.5
高齢夫婦無職（60歳以上）	7.5	6.4	8.2	11.1	3.8	5.8	6.4	9.5	11.3	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	60.1	18.0

(カ) 教育費に対する経済的準備手段

就学前・就学中の子どものいる世帯における、子どもの教育費や習い事などの費用に対する経済的準備手段をみると、「月々の収入から」が85.5%と最も多く、次いで「預貯金、貸付信託、金銭信託」(29.9%)、「生命保険(こども保険、学資保険)」(20.7%)の順となっている。(図表Ⅲ-13)

〈図表Ⅲ-13〉 教育費に対する経済的準備手段(複数回答)



ライフステージ別にみると、いずれも上位2項目は同じ順位で並び、次いで「末子乳児」から「末子小・中学生」では「生命保険(こども保険、学資保険)」が、「末子高校・短大・大学生」では「奨学金など」が続いている。(図表Ⅲ-14)

〈図表Ⅲ-14〉 教育費に対する経済的準備手段(ライフステージ別)(複数回答)

	月々の収入から	預貯金、貸付信託、金銭信託	生命保険(こども保険、学資保険)	奨学金など	親や親族などからの援助	本人のアルバイト収入など	教育ローンなどの借入れ	財形貯蓄	有価証券	その他の生命保険、個人年金保険	損害保険	その他	不明
末子乳児	73.4	28.1	20.8	3.6	5.7	1.0	0.0	6.3	3.6	1.6	0.0	0.5	17.2
末子保育園児・幼稚園児	89.6	24.1	22.0	4.9	5.2	3.4	2.4	4.3	3.4	2.4	0.3	0.6	4.0
末子小・中学生	92.0	27.2	20.0	6.9	8.9	4.3	4.6	2.7	2.7	1.1	0.0	1.0	2.2
末子高校・短大・大学生	76.4	41.2	21.1	23.6	10.7	13.5	10.7	4.7	0.9	0.0	0.0	0.3	3.8